



トムトム通信

2012年度をふり返って

理事長 伊藤久美子

今年度もわずかとなり、怒濤のごとく過ぎて行った一年を振り返ってみたいと思います。大きなトピックスとしては、ケアホーム開所、茅ヶ崎での移動支援事業一時中止、債券の償還があげられます。

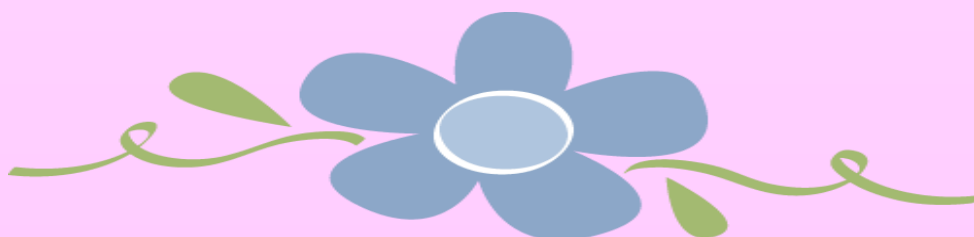
トムトムを設立した1999年当時は、こどもの余暇をマンツーマンで支援するパーソナルサービスを中心に事業を展開していました。十数年の時を経て、利用者から求められるものも変化していき、それに応えるべく、拠点お預かりという形での放課後・学校の長期休業時の支援を開始しました。また、成人した利用者への日中活動支援として、2009年にえぼっくハウスを開所し、生活介護事業を行ってきました。

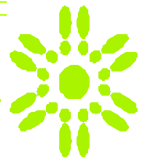
しかし、法人の始まりであった茅ヶ崎支部のヘルパー事業所を、コーディネーターを確保するが困難となったため、一時縮小せざるを得なくなりました。ご利用者及び関係者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

新規事業としては、2月1日に茅ヶ崎市香川に開所した「ケアホーム とむ郎」があります。こちらは大人の方が少人数で共同生活を営むための居住系のサービスです。2009年度にご利用者及び関係者の皆様からお借りした福祉債券により、えぼっくハウスの事業を立ち上げ、軌道に乗せることができました。これにより法人全体の運営が安定したことが、ケアホーム開所の原動力となりましたことをご報告申し上げるとともに、深く感謝いたしております。

福祉債券については、3年の償還期限を迎えております。説明会でご報告させていただきましたが、当初の計画通りに積立てを行い、返済の準備が整っております。これも当法人を支えて下さる皆様のお蔭と心から感謝申し上げます。

今後も、設立当初の理念を忘れることなく、また、利用者の皆様のニーズにお応えする努力を怠ることなく、地域に根ざしながら一歩ずつ歩んでいきたいと思っておりますので、引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。





J R相模線の香川駅から南に500メートルほどの住宅地の一角に
ケアホーム とむ郎は2月より事業を開始しました。

名前の由来は、法人名のパーソナルサービスセンタートムトム の「とむ」と、大家さんのお名前から「郎」の字をいただいて、あわせて「とむ郎」と名付けさせていただきました。

もともと大きな2階建ての一軒家だったところを、大家さんからのありがたい申し出があり、補助金なども利用して、リフォームさせていただきました。

利用者の方のお部屋は全室個室で、1階に2部屋、2階に4部屋のあわせて6部屋あります。利用されているのはみなさん男性の方で、知的障がいのある方たちです。

2月開所当初は、職員も利用者の方もケアホーム未経験でのスタートで、生活パターンに慣れるまで数日かかる方もいらっしゃいました。

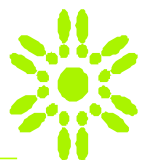
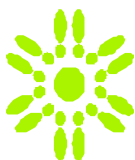
1ヶ月あまりが経過した現在、皆さん徐々に生活に慣れてくださって、日々近隣の通所先等に通われながら、生活を送っています。

今回事業を開始して、自分自身もしばらく居住系の支援から遠ざかっていたこともあり、ケアホームの生活というのは利用者の方にとっては、予想以上に大きな変化のあることだということを実感させられました。また、ご家族のかたの日々のご苦勞も含めて、この支援の必要性を、強く感じられているところです。今後も利用されている方たちが、落ち着いて安心して暮らせるケアホームとして、スタッフ全員で力を合わせて努めていきたいと思っておりますので、今後も皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



(ケアホーム とむ郎 担当：本間)
(事業名：共同生活介護)

「とむ郎」お披露目会にて
右 大家 野坂 様
左 理事長 伊藤 久美子



アメニティフォーラム研修報告

ゆうゆうクラブ 難波美行

2013年2月8日～10日、滋賀県大津プリンスで開催されたアメニティフォーラム17 in 滋賀に、参加させていただきました。

40以上のプログラムが用意され、全国から1400人以上の方が参加された大きな研修ですが、参加したプログラムのほとんどの冒頭で、日本の財政不安、いじめ、体罰問題に触れていました。そんな暗い話の中でも、会場に笑いを届けてくれた“ライブパフォーマンス”や、細川佳代子さん総指揮作品の映画に、涙ぐんでいる方もたくさんいました。

最終日に「健康な人の健康を維持するためのセッション」というプログラムに参加しました。ここで、学んだのは、心の健康をどう維持していくかというものでした。

これは、福祉の仕事に携わる人だけでなく、今の世の中、働く人にとっては、かかせない問題ではないかと思いました。

いつでも、心をニュートラルにするのは、難しいものですが、改めて自分を振り返るいい機会になりました。

日常に追われるばかりではなく、たまには、新しい風を入れることも大切にしたいなど、ちらつく雪を見て感じました。



江原支援員(えぼっくハウス)が受講し、特に印象に残った内容です。

『新しい障がい支援区分のこと』(全国地域生活支援ネットワーク)
障がい支援区分となって新しく生まれ変わるのか、それともマイナーチェンジ(基本はそのまま、外装の一部が変わるだけ)なのか、今後の動向に注目していきたいところです。毎日関わる家族やその他支援者にしかわからない事柄もあるのでそういった意見が反映されやすい区分認定であってほしい。

『インクルージョン社会を目指して』(細川元総理の妻 細川佳代子)

講師も障がい者に対して、当たり前知識と同情しか初めは意識していなかったという。
ある牧師さんの話「どんなに医学が進歩しても、人間が生まれ続ける限り、約2%の知的・発達障がいのある子が生まれてくる。まわりの人たちに優しさや思いやりの心を教えるために神様が与えてくださった贈り物だから」すべての人間は生まれてくる意味があるからこそ生まれる。
※ソーシャルインクルージョンとは「全ての人々を孤独や孤立、排除や摩擦から援護し、健康で文化的な生活の実現につなげるよう、社会の構成員として包み支え合う」という理念である。人間の固定観念に依る狭い視野…彼らと関わることによって教わった事がたくさんあるという。

その他、様々な、素晴らしく感動させていただくことが内容を聴くことができました。現在の活動、今までの支援でメンバーの仲間たちに多くを学ばせて頂いていることを感謝して、初心に戻ることも大切にしながらこれからも支援に当たります。

25年度の研修の報告

研修名	開催日	参加者	場所	講師・内容
法改正についての研修	4/18	常勤・嘱託	本部	本間 太郎 氏
精神病について	5/16	常勤・嘱託	本部	元町の家 瀬川 直人 氏
衛生面研修	5/25	常勤・嘱託・非常勤	あいあい	看護師 工藤 明美 氏
口腔ケアについて	6/16	全職員	さがみ農協ビル5階	芳賀デンタルクリニック院長 芳賀 定 氏
労働講座	6/20	常勤・嘱託	本部	かながわ労働センター
交通安全講習	6/29	常勤・嘱託・非常勤	ゆうゆう	平塚警察署 生活安全課 交通安全について
心肺蘇生法講習	7/6	常勤・嘱託・非常勤	鶴嶺コミュニティーセンター	救急救命法についての講習と実習
労働講座	7/11	常勤・嘱託	本部	かながわ労働センター
メンタルヘルスケア	9/12	常勤・嘱託・非常勤	本部	横浜労災病院 山本 晴義 氏
子どもたちとのかかわり方①	9/19	常勤・嘱託	本部	湘南養護学校 教諭 橋爪 秀記 氏
感染症についての講習会	9/26	常勤・嘱託・非常勤	ゆうゆう	平塚保健事務所 保健師 門松 真由美 氏
メンタルヘルスヨガ研修	10/11	参加希望者	平塚市民活動センター	(株)ボディマインドバランス 草川 朋美 氏
子どもたちとのかかわり方②	10/17	常勤・嘱託	本部	湘南養護学校 教諭 橋爪 秀記 氏
防災体験研修	10/18	常勤・嘱託・非常勤	厚木防災センター	防災体験・訓練
時間管理研修	11/15	参加希望者	本部	(有) ビズアーク 水口 和彦 氏
働く上での心構え	11/21	常勤・嘱託	本部	和田 清 氏
虐待防止法勉強会	11/30	参加希望者	平塚市民活動センター	鈴木 治郎 氏
子どもたちとのかかわり方③	12/12	常勤・嘱託	本部	湘南養護学校 教諭 幸野 澄子 氏
子どもたちとのかかわり方④	2013年 1/16	常勤・嘱託	本部	平塚盲学校 教諭 津田 守一 氏
安全衛生について	3/2	全職員	茅ヶ崎市役所分庁舎 6F	和田 清 氏

～研修を通して～

今年度も県の研修補助を活用し、法人研修を進めていきました。今回の特徴としましては、支援現場での安全衛生を全体研修に盛り込んだことと、私たち職員がついつい日ごろ忙しく働くフォローアップ、ケアの視点から、メンタルヘルス、ヨガ体験、労働法基礎知識の研修を取り入れてみました。来年度も研修の充実が図れるよう、次の研修委員会メンバーへバトンをつないでいきます。

研修委員会 露口 信行



リレートーク



我家の次男忠佑は今年の1月めでたく成人式を迎えました。ものすごい多動だった幼い頃、こんなに周囲の方々に、お祝いされ、喜んでもらえる日が来るとは、とても想像するなどできませんでした。名前は時代劇でもお馴染み、大岡越前守と同じただすけ。とっても偉そうですがバリバリの自閉症です。得意技は一瞬の隙をついて人の前から姿を消すことです。足の向くまま気の向くまま、様々な場所に一人旅を始めるのです。忠佑は上手く会話する事が出来ず、人とのコミュニケーションが苦手です。どこへ行ってしまうかも解らないし、親としてはとても心配で、なかなか勇気をもって一人歩きさせる事が出来ないのです。それでも忠佑は自由を愛し、今までどれだけ行方不明になったか数え切れません。小さい頃はいなくなった途端『しまった！！』と思い背中がゾクッとしました。心当たりを、必死で探すのですが見つかるまでの間、生きた心地はしませんでした。ここで、エピソードの一つきいてください。

6歳の時、一人で沼津へ『社会見学』をしてきました。まずおじいちゃんの家から裸足で出発⇒1キロ先平塚駅へ⇒他の乗客の切符でめでたく改札を通過⇒沼津行き乗車(三島→沼津間で保護)⇒当然身元もわからないので児童養護施設へ宿泊(保護)⇒ご飯⇒お風呂⇒着替え⇒就寝となりました。この間、捜索隊はどんどん人数を増やし、ご近所・親戚・ママ友・アグネス園の先生・警察犬をもっても見つかりません(本人はすでに沼津で就寝中…)。警察官に、明るいところを探してと言われ、思いついたのが『駅！』。駅員さんに尋ねたところ、夕方改札口であった少年の事件？の話をしてくれました。『それは忠佑に間違いがない！』と担当の警察官に伝えると10分で居場所が判明したのでした。8時間に及ぶ大捜索劇は、ため息とともに終わりを迎えました。早朝、沼津まで迎えに行くと、忠佑は眠い目をこすりながら、いつもと変わらない表情で私たち両親の目の前に現れました。ここから先の再会の場面は、皆様のご想像にお任せします。

20歳になった今では、たとえ居なくなっても、自分で自宅へ戻るか、携帯電話で居場所を確認してすぐに再会できるようになったので、それほど心配することもなくなりました。そして成長を感じた時、「忠佑もお兄ちゃんになったね」って言うのと「たーちゃんはお兄ちゃんじゃないよ！弟(次男)だよ！」と笑わせてくれるようにまでなりました。つい先ごろ私の父が他界した日の夜には、「おかあちゃん悲しいね・・・」と言っておでこを撫でてくれました。悲しさもありましたが嬉しくってあったかい涙がこぼれました。

忠佑とともに歩んで…いいえ走ってきた20年間、驚くような経験や言葉では言い尽くせない様々な思いがありました。辛いことも悲しいこともひっくるめて今、『幸せだなー…』と感じる自分がいます。

振り返ってみればどれだけ多くの方々にお世話になったことでしょうか。そのすべての方々に感謝の気持ちでいっぱいです。

私たち家族が笑顔で生活できるのも、トムトムが大きな支えになっているからです。えぼっくハウスでは得意な細かいビーズの作業をして、心穏やかに過ごす毎日です。何事にも慣れるのに時間がかかる忠佑ですが、支援員・ヘルパーさんと友情を深めつつお出かけをするのが楽しみとなっています。

利用者の皆さんが楽しい時間を過ごせるよう、とても頼りにしていますので、これからもどうぞよろしくお願ひ致します。



えぽっくハウス



ゆうゆうクラブ

1. おやつ作り(暖かいもの中心です) 2. 音楽活動(楽器や歌を歌いました)



3. 草花育成(パンジー・ビオラ) 4. クリスマス会(手作りケーキ・歌・紙芝居・サンタからプレゼントを配りました)



ゴロゴロクラブ



クリスマス会



豆まき



クリスマス会



節分



公園



みかん狩り



ありがとう!



日本財団
The Nippon Foundation

2012年6月に応募した日本財団の車両の助成が決定致しました。7166件中1980件の決定の狭き門の中、2台決定という快挙!!日産キャラバン10人乗りの車いす対応と普通車の2台です。

車いす対応車は、「全自動リフター」「電動式車いす固定装置」付きで、高い間口のスライドドアで乗り降りラクラク!この運に報いるように、ぜひ安全運転を心掛けていきましょう。



3月11日に納車された車いす対応車です。

「ケアホームとむ郎」

巻頭にも記載されている「ケアホームとむ郎」の電話番号です。

住所：茅ヶ崎市香川4-21-12
電話：0467(38)5504

「グリーン工房」

えぼっくハウスの作業場として、平塚市西真土に「キャロット工房」に続き、新しく「グリーン工房」が開設されました。

住所：平塚市西真土1-7-56
電話 0463(79)8527

ご支援ありがとうございます!

2012年11月~2013年2月現在

◆個人◆

藤田様/岩城様/長谷川様/石野様/依田様/佐藤様/大友様/濱野様/河合様/小川様/今井様/酒井様/石井様/木暮様/小林様/飯田様/長嶋様/渡辺様

◆団体◆ (株)浅沼建設様

賛助会員を募集中です!

【個人・団体共に】年間1口:3,000円(何口でも結構です)

【郵便口座番号】00290-3-47042

【口座名義】特定非営利活動法人パーソナルサービスセンタートムトム

特定非営利活動法人

パーソナルサービスセンタートムトム

神奈川県平塚市南原2-4-5

マインズビル1階

電話 0463-37-2012

FAX 0463-37-2013

Email: houjin@npo-tomtom.com



ホームページもご覧ください。
<http://www.npo-tomtom.com/>